



TR-mag.Navigation 東京を遊ぶ

千代田区を楽しもう!

散歩の時間 中山秀征さん

東京ふれあいロード・プログラム



**公益的な事業のさらなる展開を図り、
公社の新たな取り組みや、
都民の皆様の役に立つ情報を
分かりやすく発信していきます。**



公益財団法人東京都道路整備保全公社
理事長 山口 明

東京都道路整備保全公社は50年の歴史を持ち、現在、約1万台の駐車場を管理する駐車場事業をはじめ、都内の道路ネットワークの早期完成と防災機能の向上に向け、明治通りなどの都道4路線の用地取得やセンターコアエリア内の無電柱化、鉄道連続立体交差事業に係る側道整備等事業、重要道路施設等の安全・安心な管理を行う道路管理受託事業、橋梁等の予防保全型管理を進める道路アセツトマネジメントなどに取り組んでいます。

特に、路上駐車削減を目的とした30分未満の駐車料金を無料化や環境負荷の低い電気自動車の普及促進のため、電気自動車（EV）充電設備の設置など、公益性の高い取り組みを先駆的に進めてきました。

今後は、都市防災の観点から東日本大震災以降、東京都が緊喫の課題に位置付けている木造密集住宅地域内の都道整備など、都の外郭団体として、積極的に関わっていきたく考えています。

また、災害時に迅速な対応が求められる道路啓開では、都内全域で公社が管理している駐車場を活用することが出来ないかと思っています。例えば、公社が重機や資材を駐車場内に保管し、平常時には、建設業者にリースし、発災時には東京都が活用するスキームなど、都のパートナーとして、スピード感を持って検討していきたいと思っています。

今後も、安定的経営基盤の確立に向け、収益事業の充実など二層の経営改善に取り組みながら、公益的な事業のさらなる展開を図り、真に都民に必要とされる公益財団法人を目指していきます。

これからも、この広報誌「TR-nag」では、公社の新たな取り組みや、皆様の役に立つ情報を分かりやすく紹介していきたいと思っています。そのことで、この広報誌が少しでも都民の皆様と公社との情報交換の場となるようがんばっていきたくと考えております。

C o n t e n t s

- 1 理事長就任に寄せて
公益財団法人東京都道路整備保全公社 理事長 山口 明

- 3 TR-mag.Navigation 東京を遊ぶ
Scene29 千代田区を楽しもう！

- 6 「ガイドと歩く街路樹ツアーとフラワーアレンジメント体験教室」を開催

- 7 Interview 散歩の時間
街を歩く、季節を歩く、心を歩く。中山秀征さん

- 9 TR-mag.Topics
夢のみち2012親子体験ツアーを実施!
夢のみち2012道路標語・絵画入選作品表彰式
夢のみち2012イベント開催
夢のみち2012フォーラム
～地域主導のみちづくり～開催!

- 13 道物語・「東京・まち・今昔」⑫
変わりゆく秋葉原界限

- 15 大石学が行く 江戸・東京の坂③
「本氷川坂と勝海舟」

- 17 TR-mag.Focus
東京ふれあいロード・プログラム
参加団体訪問 -30 /
五反田駅前をきれいにする会 (品川区)

- 18 Information & News
重要文化財・勝鬨橋「学生・技術者向けツアー」&「橋脚内見学ツアー」実施中
平成24年度「電線共同溝整備講習会」に講師として参加しました
「第40回日本橋・京橋まつり」に参加、地域との連携を深めています ほか

- 20 TR東京都道路整備保全公社の事業の仕組み

- 21 クイズ・ブラッシュアップTR-mag.③

- 22 Random Review

表紙・榎木孝明の世界

時間に追われ、空を見ない日にも、空はただそこに在る。見上げれば、いつも在る空。今日は、東京の街に広がる大きな優しい空を描きたくなった。

榎木孝明

「移りゆく刻」スケッチ場所:東京 千代田区 日比谷公園



Takaaki Enoki

鹿児島県出身。武蔵野美術大学に学び、劇団四季を経て、NHK朝の連続テレビ小説「ロマンス」主演でテレビデビュー。映画・テレビ・舞台で俳優として活躍する一方、アジアを中心に世界各地の絵を描き続ける。25冊目の最新刊画文集「浪漫旅(ろうまんたび) エジプト、エチオピア」のほか、「猫のくすっ」、詩画集「光 KOU」・「風 FUU」・「空 KUU」など著書多数。全国各地で個展を開催。

公式HP <http://www.officetaka.co.jp>

TR-mag. Navigation Scene29 千代田区を楽しもう!

東京23区のほぼ中央にある千代田区には、魅力あふれる散策エリアがたくさんあります。今回は千代田区政策経営部広報広聴課の家入亜実さんと平野大輔さんに、世界最大の古書街のあるお茶の水・神田神保町界隈を紹介していただきました。パーク&ライドや駐車場を上手に活用して、のんびり街の散策を楽しみましょう!

賢く駐車場を利用して Walkin

取材協力 千代田区政策経営部広報広聴課



「街なかの散策はマナーに気をつけて!!」

パーク&ライド
自動車を駅周辺の駐車場に停めて(Park)、電車やバスに乗り換える(Ride)。渋滞緩和の方策の一つで、TR東京都道路整備保全公社も渋滞緩和や環境改善を図るためにパーク&ライドを推進しています。

神田川を挟んだ南北の台地はもとは二つの丘陵地・神田山!

ふたたび聖橋を渡り神田駿河台へ。神田川を挟んで南側の駿河台と北側の本郷台は、もともとは江戸城の北東に位置する二つの丘陵地で神田山と呼ばれていました。二代将軍・秀忠の時代に神田山を南北に分け、真ん中に新しい堀を作り、神田川の流路が完成して現在のような地形になりました。工事は仙台・伊達藩が行ったことから、当時は仙台堀、伊達堀と呼ばれ、江戸時代の景勝地として評判を呼んでいました。

本郷通り沿いの日立製作所旧本社ビル跡地では、御茶ノ水ソラシテイ建設の真つ最中。このあたりは、「生き過ぎた」七十五年食ひぶしを限りしられぬ天地の恩という辞世の句を残した大田南畝(蜀山人)終焉の地。本郷通り右手の紅梅坂に沿って聳える大きな緑色のドームがニコライ堂の愛称で親しまれている日本ハリストス正教会東京復活大聖堂です。文久元年(1861)に函館のロシア領事館付司祭として来日し、明治5年(1872)に東京に正教を伝えた聖ニコライの名に由来しま



ニコライ堂
ロシア人建築家シチュールゴフの設計図面を基に、ジョサイア・コンドルが実施設計・監督。明治17年(1884)に竣工、明治24年(1891)2月に完成



小栗上野介生誕の地碑

上野介は幕末徳川政の案内板があります。栗上野介の生誕の地は、幕末の幕臣・小栗上野介の生誕の地の案内板があります。病院長の裏手、甲賀通りのYWCAビルの前には、幕末の幕臣・小栗上野介の生誕の地の案内板があります。

ち寄った二代将軍・秀忠のお茶用に使ったことから、將軍家に献上するようになり、お茶の水と呼ぶようになったとか。その碑がJR御茶ノ水駅西口前の派出所の脇にあります。神田駿河台には江戸時代、旗本屋敷がたくさんありました。三河以来の幕臣で、家康・秀忠・家光の三代に仕えた「三河物語」の著者・大久保彦左衛門もその一人。屋敷跡の碑が明大通りに面した杏雲堂病院の植え込みに建て



お茶の水の碑
大久保彦左衛門屋敷跡の碑

天下のご意見番・大久保彦左衛門が住んでいた神田駿河台

このあたりがお茶の水の名で呼ばれるようになったのは、今の御茶ノ水駅の近くにあった高林寺境内から名水が出て、鷹狩りの帰りに立

す。ニコライ堂のイコン制作には、サンクトペテルブルクで修行した山下りんが、ロシア人イコン画家・ペセノフの助手として参加していましたが、残念ながら震災で焼け現存していません。

今注目される新時代の鎮守の森は神田明神の「屋上庭園」!

千代田区エリアは、慶長8年(1603)に江戸幕府が開かれて以来、政治・経済・文化の中心を担ってきました。千代田区が誕生したのは、昭和22年(1947)のことです。区名は江戸城の別名・千代田城に因んだと言われています。区内には江戸城の面影を残す皇居や世界的ビジネス街・丸の内・大手町、世界有数の電気街・秋葉原、そして今回の散策エリアのお茶の水・神田神保町など、さまざまな街並みがあります。

今回の散策は、JR中央線・御茶ノ水駅の東側に架かる聖橋からスタートします。橋を渡り、国道17号の信号線を右に曲がった左手に、明神様として親しまれる江戸総鎮守・神田明神があります。正式名称は明治時代に改められた神田神社です。天平2年(730)の創建以来、約1300年にわたる江戸、東京を見守り続けています。縁結びの神様だといく様、商売繁昌の神様・えびす様、除災厄除の神様・まさかど様の三神様が祀られる神田明神。随神門をくぐると正面に御社殿、右手の獅子山に立つ夫婦の石獅子は、区内に残された数少ない江戸期の石造物の一つです。境内には祭祀殿・資料館や鳳凰殿、国学発祥の地碑、銭形平次の碑をはじめ見所がたっふり。最近、注目され



御茶ノ水西口からの聖橋



関東大震災の復興橋で当時としては珍しいコンクリートのアーチ橋。ニコライ堂と湯島聖堂の2つの聖堂を結ぶ橋として名づけられた

権を支え、横須賀製鉄所の建設はか多くの業績を遺し、日本の近代化に尽力しましたが、その功績はあまり知られていません。



太田姫稲荷神社

上野介生誕の地のひと区画先、三井住友海上火災保険ビルの西側に太田姫稲荷神社があります。江戸城築城で知られる太田道灌の娘が天然痘で生死をさまよっていた時に、天然痘に霊験のある京都の一口稲荷神社に祈願して治癒したことから、道灌が一口稲荷神社を江戸城内に築いたのが始まりと伝えられています。その後、家康によって聖橋の袂、今建設中の御茶ノ水ソラシテイの前に遷された代々の将軍に崇拜されてきました。明治5年に太田姫稲荷神社と改められ、昭和6年(1931)に現在の地に遷りました。

お茶の水界隈は日本のカルチャーエラタン

日本のカルチャーエラタンと称されるお茶の水界隈には次々と名だたる大学が誕生しました。また多くのミュージシャンたちが集まる楽器街としても有名です。



明大通りでひとときわ目をひく
錦華公園



御社殿
屋上庭園 開園時間: 10時~16時



随神門
銭形平次に早変わり!
(上) 狛犬 (下) 獅子山 千代田区指定有形民俗文化財

江戶三天堂の一つとして有名な神田祭は、平成25年5月11日(土)、12日(日)に4年ぶりに行われます! 神田明神の西側、宮本公園には、江戸の町人文化を彷彿とさせる黒漆喰の美しい木造家屋・神田の家があります。ここは江戸時代から神田鎌倉町(現・内神田)で材木商を営んできた遠藤家が関東大震災後の昭和2年(1927)に建てた店舗併用住宅を移築したものです。



神田の家
千代田区外神田2-16

江戸文化・伝統行事の紹介や講座、貸室などに使われている。千代田区指定有形民俗文化財
公開: 毎月8のつくりに内部を一般公開
ただし1月1日・2日・3日はオープン(予約制 約30分~1時間)
時間: 11時~、15時~
問い合わせ: 03-3255-3565
http://www.kandanoie.com (NPO法人神田の家)

のは、創立120周年を記念して建てられた明治大学超高層キャンパス・リビティタワーです。ここには、卒業生で日本を代表する作詞家・作家の阿久悠氏の業績を称えた「阿久悠記念館」が併設されています。大学の敷地内の公開オープンスペースを抜けると、もと大名屋敷の庭園だった錦華公園に出ます。公園に隣接するお茶の水小学校は、明治6年(1873)に錦華小学校として開校し、夏目漱石も学んでいます。学校の脇には、夏目漱石の処女作「我が輩は猫である」の文学碑があります。錦華通りを水道橋方面に10分ほど行くと、右手に神田女学園、左手にカトリック神田教会が見えてきます。この教会は明治7年(1874)に創建され、東京の教会でも有数の歴史を持っています。明治20年(1887)、敷地内に白百合学園の前身・女子仏英和学が開校し、翌年には暁星学園の前身となる暁星学校が開かれています。明治29年(1896)に完成したゴシック式聖堂は、大正2年(1913)の神田帯の大火で消失、2年後の大正4年に完成したレンガ造りの聖堂は、大正12年(1923)の関東大震災によって全焼しました。この時に女子仏英和学校も全焼し、後に九段坂上に移転しました。現在の聖堂は、昭和3年(1928)に完成したもので、当時の面影がそのまま残されています。



カトリック神田教会聖堂 国の登録有形文化財

ちょっと足をのぼして

67年ぶりに姿を現した東京駅3階!

東京駅が開業したのは98年前の大正3年(1914)。駅舎の設計は日本近代建築の祖・辰野金吾。しかし終戦直前の昭和20年(1945)の空襲で炎上し、ドーム屋根と3階部分を焼失しました。修復工事によってドーム型から新たに八角形の屋根がかけられ、3階部分は再建されませんでした。長い間、修復したままの姿で利用され続けてきた駅舎の復元を求める住民運動が高まり、平成19年(2007)に復元工事がスタートし、平成24年(2012)10月1日に公開。67年ぶりに東京駅の3階が姿をあらわしました。LED照明のあたたかい光でライトアップされた駅舎の幻想的な夜景が注目されています。



カトリック神田教会から白山通りに出て、神保町の交差点を目指します。この通り沿いは、お昼時になるとビジネスマンや学生たちで賑わう店が軒を連ねています。その並びに、大正10年(1921)に奥野・香商店として創業した老舗の奥野かるた店があります。店内には懐かしい犬棒かるた、新作かるた、キャラクターかるたなどのほかに、百人一首、花札、碁将棋、すごろく……、誰もが一度は遊んだことのあるものがずらりと並んでいます。2階の小さなカルタ館では、かるたや百人一首の貴重な資料などが展示されています。

古書店街を抜きに神保町は語れない



神田古書街



奥野かるた店



2階の小さなカルタ館

白山通り沿いから古書店が徐々に増え、世界最大級と言われる古書店を中心とした書店街が靖国通りと交差する神保町交差点の左右に広がります。専門店も多く、音楽・近代文学・美術・漫画・演劇などありとあらゆるジャンルの本に出会うことができます。毎年、秋の読書週間に催される「神田古本まつり」には、本を求めて多くの人が訪れますが、ただ眺めて歩くだけでも楽しめるお勧めのスポット。古書店街を抜きにして神田神保町は語れないと言っても過言ではありません。

神保町めぐりは“本と街の案内所”から



常駐の案内人さんは、神保町のエキスパート!



千代田区神田神保町1-7-7
営業時間:11:30~18:00
休業日:日・祝祭日



よく見ると、街灯がすずらんの花の形



学生会館



日本野球発祥の地碑



東京大学発祥の地碑



新島襄生誕の地碑

神保町交差点から駿河台下に向かう途中に、2007年10月にオープンした本と街の案内所があります。本探しはもちろんのこと、神保町に関する情報を何でも聞くことができます。お役立ちスポットです。まずは案内所に立ち寄ってから神保町を散策してはいかがでしょうか。

日本野球発祥の地碑はファン必見!

靖国通りと千代田通りが交差する駿河台下交差点から白山通りに至る約250mの商店街がすずらん通りで、明治の頃から多くの中華料理店が軒を並べていました。その理由は、神保町界隈にある多くの大学に中国からの留学生が集まり、彼らの食を満たすためだったとか。周恩来元中国首相もその一人でした。今でも元首相が通った店のいくつかは元気に営業しています。

楽しいイベントが目白押し千代田区へGO!

日比谷図書文化館開館一周年記念特別展「市川團十郎 荒事の世界」
~11月28日(水)(11月19日(月)は休館)
場所/日比谷図書文化館1階特別展示室
時間/10時~20時(土曜は19時・日曜は17時まで)
問い合わせ/03-3502-3340(代表)

3331 TRANS ARTS 展
「アートの世界・可能性を越えてゆく」活動を展示・紹介する展覧会です。
~12月2日(火)(曜日は休場)
場所/アーツ千代田3331 1階メインギャラリー
時間/12時~19時
問い合わせ/03-6803-2441(代表)

丸の内イルミネーション2012
~平成25年2月17日(日)
場所/丸の内仲通り他
時間/17時~23時(12月は24時まで)
問い合わせ/03-5218-5100

お茶の水・神田神保町界隈を歩いていると、「神田の生まれよ!」という江戸っ子の心意気と日本No.1の誇りが伝わってきます。

同志社大学の創立者として知られる新島襄生誕の地碑も敷地内にあります。平成25年のNHK大河ドラマ「八重の桜」は、新島襄の妻・八重の物語です。京都で、日本で最初のキリスト教式結婚式を挙げたのは、新島襄・八重夫妻だったそうです。

歴史的建造物を見学

ちょっと足をのぼして

神田淡路町、須田町の路地裏には、大正から昭和初期に建てられた、かんだやぶそば、いせ源本館、神田まつやなど、趣のある建物がいくつも残されています。この界隈の路地を歩いていると、古い建物がそこに残されていて、まさにタイムスリップしたように感じます。ぜひ、ちょっと足をのぼしてみてください



※掲載データは2012年10月20日現在のものです。

TR東京都道路整備保全公社主催 「ガイドと歩く街路樹ツアーと フラワーアレンジメント体験教室」を開催



日比谷公園内にある「緑と水のカレッジ」で受付。

Lecture



楽しく安全に
過ごしてください!

主催者挨拶をする、東京都道路整備保全公社原公益事業課長



東京都建設局公園緑地部計画課道路緑化計画担当の山本係長から街路樹の定義について説明。東京を緑あふれる都市にするために、100万本の街路樹を目指しており、現在は78万本を突破しているそうです。



屋外に出て説明を聞くためのイヤホンを装着!

Roadside Tree Tour ガイドと歩く街路樹ツアー

今回のツアーは、日比谷公園内をスタートし、丸の内仲通りや三菱一号館の中庭を見学。ときおり強い雨が降る悪天候でしたが、講師の上田さんのユーモアに富んだ説明に、雨の中の散策も楽しいものになりました。

日比谷公園



講師の上田さんを先頭にして見る、香る、食べる、触る、聴く……五感を楽しむ街路樹ツアーは日比谷公園からスタート。

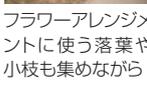


紅葉したイチゴの葉を袋に入れておくとバラの香りがします!

アジサイは花が咲き終わるとくると反転して下を向くそうです。



東京の下町の街路樹に多いスズカケの原木は日比谷公園にあります。大きな鈴がなっているように見えることから、その名前がついたとか。



「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」の会社のブース。「TOKYOみどりの道フォトコンテスト」の入賞作品も展示されていました。



どんな香りかしら?!

丸の内仲通り



触るとくすぐったくなることから、サルスベリは「くすぐりの木」とも言うんです。



丸の内仲通りではオブジェも必見!

三菱一号館中庭



中庭の樹木や建物の復元について三菱地所設計のご担当から説明を受けました。



少し頭でっかちなガス灯は、当時の絵ハガキを参考に復元したそうです



ベンチに座ったコンドルのブロンズ像が出迎えてくれます。



壁面の緑化や給水型保水性舗装、ドライミスト等、環境に配慮した技術が採用された中庭は、気軽に寛げるオアシスのよう。



高さが18メートルというケヤキは中庭のシンボルツリー。植鉢の深さは2メートルにもなるそうです。



白さを保っていることから「白雪姫」と呼ばれているシラカバ。

平成24年10月3日(水)、「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」の日比谷公園会場において、抽選で選ばれた19名が参加して「ガイドと歩く街路樹ツアーとフラワーアレンジメント体験教室」を開催しました。

※「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」は、「緑の風がふきぬける東京」をテーマに平成24年9月29日(土)〜10月28日(日)までの30日間にわたり開催されました。

Flower Arrangement フラワーアレンジメント体験教室

「身近な緑を活用して環境に優しく」をテーマにした、フラワーアレンジメント体験教室。街路樹ツアーの途中で集めた落葉や小枝を使って思い思いのアレンジを加え、オリジナルティあふれる作品を完成させました。



初の試みとなったフラワーアレンジメント体験教室の講師をされたのは、環境カウンセラー、緑化環境まちづくりコーディネーターとして活動されている鈴木圭子さん。



緑と水のカレッジに戻り、いよいよフラワーアレンジメントに挑戦!



皆さん、どんな道が好きですか?

鈴木さんの質問に、どんな道が好きなのか思いを巡らせていました。



完成作品を参考にアレンジメントをしていきます。



カードに貼っても可愛いんですよ!

土台のオアシスに、落葉や木の実を差ししていきます。



どんな形に仕上げるのか、まずはイメージを膨らませて!



難しいところは先生に手伝っていただきました!

色や形、大きさのバランスを見ながら配置するのがポイントです。



手づくりの麻袋は、球根の保存や部屋の壁に飾ってインテリアにも使えます。



落葉と木の実の飾り額が完成!

Impression 参加者の声



「街路樹ツアーに参加して、街路樹など街中の緑に癒されているのだと、改めて実感しました。旅行が大好きで色々なところに出かけているのですが、これからは街の見方が少し変わるのではないかと思います。フラワーアレンジメントも、街の中にあるものを活用して、ちょっとした工夫で素敵な作品ができることを教えていただきました」とお二人で参加された有賀さん。

Interview 時間

街を歩く、季節を歩く、心を歩く。

「ヒデちゃん」の愛称で親しまれ、情報番組やバラエティ番組の司会に大活躍の中山秀征さんは、第30回「ベストファーザー イエローリボン賞」を受賞するなど、4人の男の子の良きパパとしても有名です。今回の「散歩の時間」では、そんな「ヒデちゃん流の散歩」について伺いました。

— 今や情報番組の定番コーナーになっている「街歩き」ですが、中山さんが出演されていた「DAISUKI!!」という番組がその草分け的な存在だったのではないのでしょうか？

中山 確かに「街歩き」だけで1時間やる番組は無かったですね。100〜200メートルの商店街を1軒1軒ちゃんと見て歩くことで新しい発見がありました。僕もあの番組でいろいろなことに気づかされたんですよ。10年弱続いた番組なので、歩くことで商店街の変化も直接感じることができました。若い頃は、歩くというよりもドライブしたいという気持ちが強かったんですが、あの番組をやったことで、立ち止まることや振り返ること、見ず知らずの人と話す面白さを知りました。改めて自分は「人と触れ合うことが好きなんだ」ということを再確認させてくれた番組だったのかもしれないですね。「町の商店街に頑張っしてほしい」という気持ちが強いのは、その影響だと思います。

— 散歩の原点はどこだと思われますか？

中山 僕は子どもの頃、学校帰りに寄り道をしたり、自までの道すがら、帰りになにを食べてみようかななどと話し合っ、広尾の商店街や麻布十番の方に歩いて行ったりもします。食べ歩くのが好きなので、子どもの頃の懐かしい味……焼き鳥やハムカツ、コロッケなんかをついつい食べちゃってですね。あの辺は坂も多くアップダウンが大きいので、散歩としては結構ハードコースですね。でも、「歩き心地の良い街」でもあります。

— 中山さんの家族を大切にされている思いが伝わってきますよね。

中山 当然だと思いますよ。子どもたちとゆっくりとした時間を過ごせるのも、今だけですからね。ひとりずつ増えてきた家族も、子どもたちに友達ができ、仲間ができれば、自然と家族から離れて行って独立していくんですね。

— そんなこともあって、僕が今一番楽しんでいるのは子どもの授業参観に行ったり運動会に行ったりすることなので、行くことのできるイベントには、全部参加したいと思っています。子どもたちが家にいる時は、全部が家族時間だと思っていますから、次の日までにやらなくてはいいけない仕事がある時は、彼らが寝てからしています。



分なりの近道を考えたり、今考えると無駄なことかもしれないですが、通ったことのない道を通るということに凄く魅力を感じたんです。段ボールやワラを集めてきて基地を作ったり、そこにカードなどのお宝を隠したり、そこでお弁当を食べてみたり……、まるで「20世紀少年」のケンジたちのようなことをしていましたね。今思うと歩くことの楽しさを教えてくれたのは通学路で、それが僕の散歩の原点なんです。「DAISUKI!!」を長くやらせてもらったおかげで、その頃の感性が自分の中に甦ってきた気がします。

— どんな時に散歩をされているのですか？

中山 昔から矢沢永吉さんに憧れていて、若い頃は角のタバコ屋までキャデラックに乗って行く、という《永ちゃん伝説》を実際にやったこともあるんです。さすがに今は、近所への買い物は歩いて行きますけど(笑)。

— 今年、デビュー30周年ということですが、新たな目標についてお聞かせください。

中山 思い通りに行かない時もありましたが、ドラマ、歌、コンサート、やりたいことを一つひとつやり遂げてきました。ドラマでは主役もやったし冠番組も持った。一時は「やりたいことが無くなってしまっじゃないか!」と、不安に思ってたくらいです。でも勉強して成長していく子どもたちを見ていて刺激されました。もう一度、15歳でデビューした頃の原点に帰って、チャレンジしてみようと思っただけです。今45歳なのですが、50歳までの5年間を「思いっきり攻めたらどうなるんだろう?」と思っています。50歳の時の具体的なビジョンはまだないのですが、思いっきり攻めた結果、50歳で何かが変わっていたら良いなと思っています。人生の散歩にまだまだ終わりはありません。



タレント 中山 秀征 なかやま・ひでゆき

1967年7月31日生まれ、群馬県藤岡市出身。15歳でデビューし、今年で芸能生活30周年を迎えた。俳優や司会の仕事を中心に数多くのバラエティ番組で活躍。現在、「ウチくる!?」(フジテレビ)、「シューイチ」(日本テレビ)のメイン司会を務めている。プライベートでは、1998年に元宝塚娘役トップスターの白城あやかさんと結婚、4人の男の子の父親に。2011年6月には「第30回 ベストファーザー イエローリボン賞」受賞、10月に「イクメンオブザイヤー2011」を受賞。2008年12月から「ぐんま大使」。オフィシャルHP: <http://www.hideyuki-nakayama.com>

夢のみち

2012 親子体験ツアーを実施!

水上バスに乗って見上げよう

「日本橋川・神田川・隅田川に架かる橋梁」見学 ■平成24年8月10日(金)

小型水上バス「カワセミ」に乗って3つの川を巡り、川岸の風景と39の橋を間近に見学。

抽選で選ばれた
13組35名が参加!



日本橋発着所で受付。
※2回目は12組33名

日本橋川



水上バス「カワセミ」で日本橋川から出発。



橋を真下から見られるのも水上バスならではの醍醐味。

神田川



神田川が東京でも「緑の多い川」と言われていることに納得!

隅田川

隅田川へ出ると川幅も広がり開放的な水辺空間に一変。



ツアー終点は国の特別名勝及び特別史跡に指定されている浜離宮恩賜庭園。



デッキに出たら、まずは記念撮影。

東京スカイツリーをばっちり撮影!



放射線を描くアーチ型が印象的な神田川に架かる聖橋。

中央線と水上バスが急接近することも。



放射線を描くアーチ型が印象的な神田川に架かる聖橋。

Impression 参加者の声



「子どもが設計士を目指しているの、とてもいい経験になりました。良い企画なので、また参加したいと思っています」と伊藤さん親子。

「すごく楽しかったので絵日記に描きます!普段、橋を真下から見ることがないので、とても勉強になりました」と岸野さん親子。

重要文化財に指定されている2つの橋



▲清洲橋からは東京スカイツリーが見える。



勝間橋▶

夢のみち 2012イベント開催

■平成24年8月22日(水)・23日(木)

新宿西口広場のイベントコーナーにおいて「夢のみち」2012イベントを開催しました。「みちと緑」をテーマに、花絵づくりや積み木などの参加型コーナーをはじめ、参加企業や東京都による道に関する取組の紹介など、身近な道の大切さを体感できる2日間となりました。



みんなの協力で花絵が少しずつ完成!



積み木コーナーは小さなお子様に大人気

「夢のみち」2012道路標語・絵画入選作品表彰式 ■平成24年8月22日(水)

東京都道路整備保全公社と東京都建設局では、「夢のみち」事業の取組の一つとして、都内在住、在学の小中学生を対象に、「緑のある道」をテーマにした標語と絵画を募集しました。入選者の表彰式は、平成24年8月22日(水)、新宿駅西口広場のイベントコーナーで行われました。夢のみちのロゴマークをデザインされた石川明さんからの講評もありました。

道路標語



小学生部門 優秀賞



中学生部門 優秀賞



最優秀標語となった山本紗愛さん



第29回全国都市緑化フェアTOKYO特別賞の鈴木桃佳さん

「夢のみち」事業とは

公益財団法人東京都道路整備保全公社と東京都建設局は、都民のみなさんが、道とふれあい、道に親しみをもち、道が日々の生活に身近な施設であることを実感していただくために、「夢のみち」事業を実施しています。「夢のみち」というネーミングは、その道に暮らす人々の願いや思いを「夢」という普遍的なイメージをもつ文字で表現することで、道に関する理想や未来像を想起させ、道と親しむきっかけを作りたいという思いをこめたものです。

人知れず活躍する「道路お掃除隊」

「ロードスーパ(路面清掃車)」

夜間に走りながら道路の汚れやゴミを清掃して



抽選で選ばれた15組36名が参加! JR王子駅改札前で受付後、体験試乗会場の「王子自動車学校」へ都営貸切バスで移動。



デモンstration走行を窓越しに見学。先行車、散水車、ロードスーパ、ダンプがチームとなって、東京の道路清掃をしている模様です。

体験試乗

いよいよ試乗!運転席が4トラックよりも高い位置にあるので、見晴らしも抜群です。



体験試乗が終わってから、ロードスーパの周りに集まり熱心に質問をする参加者も。

体験試乗 ■平成24年8月6日(月)

くれる、「働く車」ロードスーパに体験試乗。



一般社団法人東京都道路清掃協会の担当から、東京都の道路清掃の仕組みと体験試乗するロードスーパについて説明をしていただきました。



作業中のホコリを防ぐために水を撒く散水車は、約6500ℓの水を積んでいます。



試乗待ち時間に一生懸命、ぬり絵に挑戦!



記念撮影も楽しいひと時になったようです。

東京の流れを地下から変える

「首都高速中央環状品川線」工事現場見学 ■平成24年7月31日(火)

平成25年度末の完成を目指して工事が進められている首都高速中央環状品川線の大井北立坑などを見学。



抽選で選ばれた18組42名が参加!



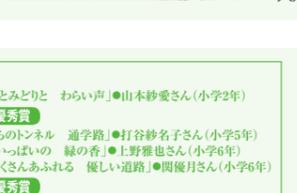
京浜運河を渡り、東京都第二建設事務所の品川線建設事務所 大井工事事務所へ移動。



エレベーターが階段で約30メートル下の工事現場へ!



完成前の道路を歩く貴重な体験に大満足!



大井車両基地も見えました。

Lecture



東京都第二建設事務所の本間さんから、首都高速中央環状線の概要と見学する工事現場について説明をしていただきました。



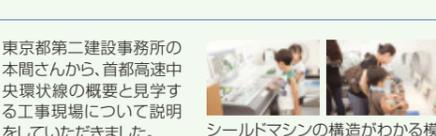
中央環状線の全容がわかる模型を使った説明に興味津々。



2台のマイクロバスに併乗してトンネルをさらに移動。



トンネルには独立避難通路も設置されています。



シールドマシンの構造がわかる模型も大人気。



ヘルメット&軍手、イヤホン装着して準備完了!



シールドマシンで掘られたトンネルの大きさに大興奮!



トンネルには独立避難通路も設置されています。

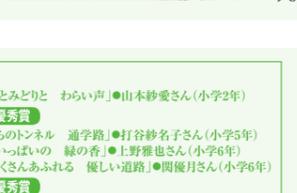
大井北立坑



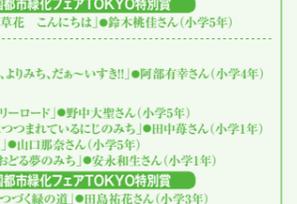
エレベーターが階段で約30メートル下の工事現場へ!



完成前の道路を歩く貴重な体験に大満足!



大井車両基地も見えました。



大井車両基地も見えました。

Impression 参加者の声



「運転席はいつもと違う高い目線で気持ち良かったです。いろんなボタンを操作して運転するのは大変だと思いました」と都司さん親子。

「工事作業車が好きなので、試乗できて面白かったです。思っていたより運転席が広く、ゆったりと乗れました」と仙谷さん親子。

Impression 参加者の声



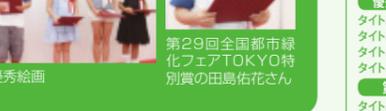
「トンネルに入ったり、道路を歩いたり、今だけできる体験をしたことが大切な思い出になってくれたら嬉しいです」と塩野さん親子。

「夏休みの自由研究にしようとして一生懸命メモを取っていました。掘られたトンネルが大きすぎてビックリしました」と奥笠さん親子。

絵画



最優秀絵画となった阿部有幸さん



最優秀絵画

最優秀標語

「りくどうに 花とみどり わらい声!」●山本紗愛さん(小学2年)
「また今年 さくらのトンネル 通学路!」●打谷紗名子さん(小学5年)
「ホッとすると 道いっばいの 緑の香!」●上野雅也さん(小学6年)
「緑とマナー たくさんあふれる 優しい道路!」●関根月さん(小学6年)
「緑ある 道はみんなの 宝物!」●安田早希さん(小学1年)
「微笑みと 緑あふれる 夢のみち!」●山田真映さん(小学2年)
「風にゆれ 木々や花たち 歌う道!」●古田茜さん(小学3年)
「第29回全国都市緑化フェアTOKYO特別賞」
「歩くたび 緑の草花 こんにちは!」●鈴木桃佳さん(小学5年)

最優秀絵画

タイトル「みちくさ、よりみち、だあいすき!」●阿部有幸さん(小学4年)
「最優秀絵画」
タイトル「スカイツリーロード」●野中大聖さん(小学5年)
タイトル「みどりにつつまれているにじのみち」●田中寿さん(小学1年)
タイトル「くさの道」●山口那奈さん(小学5年)
タイトル「季節がどる夢のみち」●安永和生さん(小学1年)
「第29回全国都市緑化フェアTOKYO特別賞」
タイトル「くぐるつづつ緑の道」●田島祐花さん(小学3年)



「どの作品も道の大切さを再認識できる素晴らしいものでした。これからは夢をもって、いろいろなことに挑戦していただきたいです」と石川明さん



笑顔がいっぱいの記念撮影!



入選作品は8月21日~28日、9月6日~13日まで、都庁第一本庁舎1階アートワーク台座に展示されました。応募作品は8月19日~9月14日まで、新宿駅西口プロムナードギャラリーに展示されました。

第2部 講演 涌井雅之氏 (造園家・東京都市大学教授)

「道がつくる緑の回廊

～環境革命の時代の先駆けとして～

今日は専門の立場から道の大きな役割についてお話をさせていただきます。

2011年3月の東日本大震災では多くの尊い命が失われました。この災害は我々一人ひとりにライフスタイルの転換を突きつけたと考えております。こうした自然災害は日本の宿命とも言えるべきですが、同時にこの地球が非常に危うい状態にあるということです。半径6400kmという膨大な地球で人間が生息するのはわずか30km。これは地球を直径20cmで描いたらわずか0.5mmにすぎません。その地球の膜が今破ければかなりの状況にあります。その原因となる300数十年前の産業革命は、地球の46億年の歴史を1年の暦に置き換えると、12月31日の午後11時59分、1年の終わりのたった2秒前のこと。この2秒にも満たない時間の中で我々は、38億年かけて紡ぎ上げてきた地球のシステムを瓦解させてしまっている。これはカナダのプリティッシュコロンビア大学が示した、エコロジカル・フットプリント (それぞれの国の国民が、地球上の生物資源をどのくらい使っているのか、それを元に戻すにはどれくらいの資源が必要なのかを示す指標) という考え方で、世界を愕然とさせました。さらに人類が地球にかけている負荷は地球1.25個分に達し、世界水準が日本やアメリカ並みだと地球はいくつ必要なのか?我々の果てしない欲望が地球を危うくしていることは間違えありません。今、地球上には約3300万種、未発見のものを含めれば約1億種はいると言われています。2005年の国連のミレニアム生態系調査によると、1日に300種の生物が絶滅する可能性が高いと言われています。

では我々はどうしたらいいのか?それは豊かさを追いつめる暮らしから深める暮らしにシフトし、サステナビリティ・持続的な未来を子孫に残すために、自然と環境、社会と経済を調和させていくことが大きな課題となります。それに応える一つのポイントが「環境革命」だと考えています。緑あふれる都市づくりは私の半世紀にもわたる取り組みです。その緑も公共事業が整備すれば良いというのではなく、多くの皆さんの力、「ミニコミュニティ」の力がなければ維持できません。パリでは「自動車からパリ市民を開放する」ことで自動車の交通量を約3割減少させ、多くの人が「ミニコミュニティ

涌井 雅之 (わくい まさゆき) Profile

1945年、神奈川県鎌倉市生まれ。造園家・ランドスケープアーキテクトとして「景観十年、風景百年、風土千年」と唱え、人と自然の空間的共存をテーマに多くの作品や計画に携わっている。今という時代を「農業革命」「産業革命」に次ぐ人類第三の革命「環境革命」の時代と捉え、地球環境問題、とりわけ生態系サービス(生物多様性)を巡る人と自然の持続的未來へ、戦略的方向を探りつつ、「地球は開かれたエデン」であると説く。国土庁水源地対策アドバイザーと社団法人国際観光協会副会長、社団法人日本造園学会の顧問。2005年の愛・地球博では会場総合演出プロデューサーを務める。2010年より国連生物多様性の10年日本委員会 委員長代理に就任。国土交通省大臣表彰や黄綬褒章など多数の賞を受賞。

東京のため未来のために活躍いただけることを祈念いたします。

(講演より抜粋、編集)

夢のみち2012を終えて

「夢のみち2012」は本日の「夢のみち」フォーラムの開催で、全ての行事を無事に終えることができました。今年度は「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」と連携し、「みちと緑」をテーマに、様々な企画を実施することで、道とふれあい、道に親しみをもち、今まで以上に道の大切さを知っていただけたのではないかと考えております。夏休み期間中に3回開催した親子体験ツアーは、夏休みだからこそ親子で参加できる、夏休みの自由研究になって役立つなど、好評でした。イベントでは、体験、体感型の催しを積極的に取り入れ、特に、花絵づくりや積み木など、多くのお子さんが参加され楽しんでもらうことができました。今年で7回目となったフォーラムは年々参加される方も増え、昨年より同時開催している道路功労者表彰式でも、東京ふれあいロード・プログラムで活動されている団体が表彰されるなど、日頃、地道な活動をされているボランティアの皆さんが、ここでも評価され、嬉しく思っております。「夢のみち2012」に携わっていただいた方々に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

(公財) 東京都道路整備保全公社 公益事業課長 原 和生

17時30分 交流会

フォーラム終了後に、交流会を開催。発表された皆さんや来場された皆さんの情報交換、交流の場として、親睦を深める貴重なひと時となりました。



新たなコミュニケーションもスタート!



皆さんお疲れ様でした。一本締めで交流会を終了!



記念撮影も大切な思い出です!



交流会には笑顔がいっぱい!



旧交を温めあったり、新しい関係を築いたり……。フォーラムは着実にコミュニケーションの場となっています。



今日は専門の立場から道の大きな役割についてお話をさせていただきます。

2011年3月の東日本大震災では多くの尊い命が失われました。この災害は我々一人ひとりにライフスタイルの転換を突きつけたと考えております。こうした自然災害は日本の宿命とも言えるべきですが、同時にこの地球が非常に危うい状態にあるということです。半径6400kmという膨大な地球で人間が生息するのはわずか30km。これは地球を直径20cmで描いたらわずか0.5mmにすぎません。その地球の膜が今破ければかなりの状況にあります。その原因となる300数十年前の産業革命は、地球の46億年の歴史を1年の暦に置き換えると、12月31日の午後11時59分、1年の終わりのたった2秒前のこと。この2秒にも満たない時間の中で我々は、38億年かけて紡ぎ上げてきた地球のシステムを瓦解させてしまっている。これはカナダのプリティッシュコロンビア大学が示した、エコロジカル・フットプリント (それぞれの国の国民が、地球上の生物資源をどのくらい使っているのか、それを元に戻すにはどれくらいの資源が必要なのかを示す指標) という考え方で、世界を愕然とさせました。さらに人類が地球にかけている負荷は地球1.25個分に達し、世界水準が日本やアメリカ並みだと地球はいくつ必要なのか?我々の果てしない欲望が地球を危うくしていることは間違えありません。今、地球上には約3300万種、未発見のものを含めれば約1億種はいると言われています。2005年の国連のミレニアム生態系調査によると、1日に300種の生物が絶滅する可能性が高いと言われています。

を再構築していきました。ニューヨークではハドソン川沿いの廃線を緑道「ハイライン」にすることで荒廃した都市が甦っています。日本でも富山市でパリの自転車のシステムを導入したり、渋谷の大橋ジャンクションの屋上を自黒区営の公園にして田んぼを作りました。昔あった目黒川沿いの棚田の歴史に立ち返り、代々木公園から大橋ジャンクション、西郷山にエコロジカルネットワークという生物が行きかう回廊ができました。今年の10月3日に地域の小学生たちが稲刈りをします。

そして様々な自然災害に向き合った時に一番頼りになるのがミニコミュニティであり、道路であり道です。これまで日本は集中、集権、広域、巨大、高速を目指してきましたが、3・11以降、我々が大事にしていることは地域が自立的に完結することです。独自のミニコミュニティを作り、地域が特性を持つて生活を優先させながら、自律分散型の国土構造を作っていく。その時に必要なのはネットワークとそれを支えるエネルギー、情報です。これがしっかりネットワークしていなければ災害時に対応ができません。もう一つが道路や鉄道のアクセラスです。そして最後にエコロジカルネットワークです。開発によって分断された自然を、道路や水辺でつないで生物が行きかう道を作ることが重要です。道路は様々な面で貢献しています。その中で一番大事なのが、多様な空間に多様な人々が多様の機能を発揮することで、地域で責任を持つということ。今日お集まりの、道と人を愛する皆さんの緑を使った「ミニコミュニティ再生こそ、これからの時代には必要なのだと思います。

公益財団法人 東京都道路整備保全公社と東京都建設局は、2012年9月12日、都議会議事堂1階「都民ホール」において、「夢のみち」2012フォーラム～地域主導のみちづくり～を開催しました。このフォーラムは、「東京ふれあいロード・プログラム」認定団体をはじめ、地域貢献活動を行うボランティア団体等の相互交流・連携を目的としたもので、交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護活動等にご尽力された個人及び団体に対する道路功労者表彰式もあわせて行いました。当日は「東京ふれあいロード・プログラム」認定団体をはじめとした都内でさまざまなボランティア活動を行っている団体や区市町村職員(アドプト・プログラム担当者)など、多くの皆様に参加していただきました。内容も盛り沢山で大盛況となったフォーラムの様相を誌上で紹介します。



14時 フォーラム・スタート

東京都道路整備保全公社の山口明理事長の主催者挨拶で「夢のみち」2012フォーラム～地域主導のみちづくり～がスタート。第1部は道路功労者表彰式、第2部は造園家・ランドスケープアーキテクトとして活躍されている涌井雅之氏による講演、第3部は各団体の活動紹介という構成で、密度の濃い時間となりました。



フォーラムの開催にあたり挨拶をする山口明理事長



表彰式にあたり挨拶をされる村尾公一東京都技監兼建設局長

第1部 道路功労者表彰式

●道路功労者 国土交通大臣賞表彰



国土交通大臣賞表彰、建設局長賞表彰は、村尾公一東京都技監兼建設局長より、感謝状と記念品が贈られました

●道路功労者 建設局長賞表彰



受賞者(敬称略) 特定非営利活動法人ピース・インターナショナル・アソシエーション、新宿西口商店街振興組合、上代継町内会、中央通り西祥会、ペアーの会

●日本道路協会 道路功労者賞表彰



日本道路協会 道路功労者賞表彰は、横溝良一東京都建設局道路監より、感謝状と記念品を贈呈

日頃より道路の美化・清掃などにご尽力いただき、道路行政にご協力いただいている皆様の道路功労者表彰式を行いました。

第3部 ボランティア団体活動発表

1 一般社団法人日本生花通信配達協会 JFTD学園日本フラワーカレッジ
活動地域/品川区北品川4丁目(山手通り)
発表者:渡邊晋氏



JFTD学園日本フラワーカレッジは、平成3年に花業界で活躍するフラワーリストの育成を目的に開校し、世界レベルで活躍するフラワーアーティストも輩出しています。平成17年4月から、東京ふれあいロード・プログラムの認定団体として、ボランティア授業の中で、5月、10月、2月の年に3回、品川区北品川4丁目にある花壇の植替え、清掃、除草などを行っています。教室での授業が多い学生にとって、土に触れ自分たちの手で草花を育てる花壇での活動は、地域の環境美化、そして地元の人たちとも交流できる貴重な場となっています。



2 柴又中央会
活動地域/葛飾区柴又の柴又街道(都道307号線)
発表者:瀬尾滋氏



柴又中央会が活動する柴又は、年間約200万人が訪れる都内有数の観光地です。柴又を訪れる皆さんに、「清潔な街」という第一印象を持って欲しい、という思いから私たちの活動は始まり、平成18年1月に東京ふれあいロード・プログラムに認定されました。現在、商店会が面している柴又街道のエリア内の650メートルの歩道の両側に点在する84の植栽マスを、冬はピオラ、夏は日日草、そして芝桜を植えています。これからも「継続は力なり」ということを肝に命じて、頑張っていきたいと思っています。今回、道路功労者 国土交通大臣賞をいただきました。



3 上代継町内会
活動地域/あきる野市の都道淵上田野線(都道169号線)
発表者:武内基氏



上代継町内会は、会員数が123世帯という小さな町内会です。東京ふれあいロード・プログラムには平成20年に認定され、「私たちの住むまちを美しく」をモットーに、町内のほぼ真ん中を通る都道169号線の植栽帯107カ所で花植えや清掃を行っています。毎月1～2回の清掃のほか、あきる野市の花いっぱい運動に合わせ、5月にペチュニア、11月にはパンジーを植え、見応えのあるものになっています。通学路にもなっているため、これからも子どもたちが花と親しみ、楽しめることを願い、活動を続けていきたいです。今回、道路功労賞建設局長賞をいただきました。



変わりゆく
秋葉原界限



昭和43年頃の中央通り



昭和43年頃



南側の電気街



万世橋の上から電気街



秋葉原ダイビル



北側の電気街



中央通りに面したドン・キホーテ8FにAKB劇場がある



秋葉原高層ビル群



時代を先取りしながら成長してきた
秋葉原は、今世界のアキバへ



昭和43年頃の電気街



昭和43年頃の秋葉原駅



昭和43年頃の市場



昭和58年頃の万世橋から見た電気街

■モノクロ写真提供 / 千代田区広報広聴課

秋葉原の名は火除の神様・秋葉神社から

今や世界中の旅行者が集まる注目のスポットとして知られる、日本最大の電気街・秋葉原。現在の電気街あたりは江戸時代、下級武士の住居地域でした。歌川広重が町火消しの消火風景を描いた『江戸乃華』に象徴されるように、「火事と喧嘩は江戸の華」と言われるほど火事が多く、秋葉原界限は江戸時代以降も火災に見舞われました。もともと秋葉原という地名はなく、明治2年(1869)に相生町(現・神田相生町)で発生した大火の後に火除地が設けられ、明治3年に遠州(現・静岡)から火除の神様・秋葉大権現を迎え、今の秋葉原駅付近に秋葉神社(鎮火神社)を祀ったことから、秋葉ヶ原(あきはばら、あきばつばら)と呼ばれるようになりました。明治23年(1890)、火除地となっていた空き地に貨物駅が開設され、それに伴い秋葉神社は台東区に移転されました。駅名は「あきはばら」となり、旅客営業が始まったのは大正14年(1925)に東京―上野間の高架線が開業してからのこと。「アキバ」の略称は若者主導ですが、語源は、神社名によるのかもしれない。昭和初期の秋葉原のランドマークは伊勢丹デパート。え?と思われ方も多いと思いますが、伊勢丹は秋葉原からスタートしたのです。電気街の街の兆しを見せ始めるのは、伊勢丹が新宿に移転した昭和8年(1933)に、ラジオ部品の専門問屋・山際電器商会(現・ヤマギワ)、オリジナルラジオセットを販売する廣瀬商会(現・廣瀬無線電機)が外神田に店を構え、急成長してからのことです。

学生のアルバイトで爆発的人気となったラジオ

昭和20年(1945)3月、東京大空襲によって秋葉原一帯はほとんど焼け野原となり、上野から須田町まで見渡せたほどだったといいます。焦土と化した秋葉原の戦後の復興を支え、切り開いてきたのは、戦前から店を構えていたラジオ専門店や販売店と新たに店を構えた電器商たち、そして混乱の中から生まれた露天商だったと言っても過言ではありません。

秋葉原に電器商が多く集まり発展したのは、いくつかの理由があります。その一つが、国鉄(現・JR)だけでなく庶民の足である都電が、万世橋から向島、新宿、日本橋方面に出ていることです。また組み立てラジオが主流だった時代に、小川町から神田須田町の付近にあった電気工業専門学校(現・東京電機大学)の学生たちがラジオを完成品として販売し大ヒットし、これまで雑貨を扱ってきた露天商が電器部品を扱うようになったこと。また昭和24年(1949)、GHQの露天商撤廃令により、電器商となった小川町から神田須田町界隈の露天商が代替地となった秋葉原駅のガード下へと大移転し、秋葉原は「電気街」のイメージを色濃くしていきます。そして昭和26年(1951)の民放ラジオ放送の開始、昭和28年(1953)にテレビ放送が開始され、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫が「三種の神器」として喧伝され、秋葉原は電気街として飛躍的に発展していきました。

秋葉原の高成長を牽引した団塊世代

昭和40年代の秋葉原は、消費の主役となった団塊世代の後押しと、大黒柱となるカラーテレビの急成長によって好調に成長していきました。世帯普及率は昭和45年(1970)の7.1%から昭和50年(1975)には73.1%の伸びとなりました。そして「三種の神器」もカラーテレビ、クーラー、自動車に変わっていききました。団塊世代の価値観、ニューファミリーのライフスタイルを反映したビデオやラジカセなどの新しい商品が次々と生まれ、家電業界を牽引していきました。この頃、田中角栄首相が唱えた「日本列島改造論」により日本中が開発され始め、秋葉原でも昭和47年(1972)に秋葉原ラジオ会館が完成したのを皮切りに、次々に高層ビルが立ち並び、ほぼ現在の街並になりました。マルチメディアというキーワードとともにパソコン、携帯端末、ネットワーク機器が続々と開発され、インターネットの登場した昭和60年代は、秋葉原の歴史の中で最も激動の時代であったと言えます。またこの頃から中央市場跡再開発、JR秋葉原駅再開発など街を大きく変容させるプロジェクトが立ち上がり、秋葉原の街そのものが大きく変わっていききました。昭和26年(1951)に開業して以来、街の成長を見守ってきたアキバパレードは、平成18年(2006)に55年の長い歴史に幕を降ろしました。

世界のアキバへ

秋葉原のイメージは、ラジオの街、家電の街、パソコンの街、オタクの街……、世代によって大きく違ってきます。それは秋葉原が時代を先取り、その時代を象徴する姿に次々と変化し、新たな風を吹かせてきたからです。そして今、世界各国から日本を訪れる観光客が、まずここへ駆けつけるほどの定番の観光スポット、世界のアキバへと大きく羽ばたき始めました。



本氷川坂



勝海舟(1823-1899)
幕末・明治・大正 回顧八十年史より

在との説もある)。のちに勝は、「坂本龍馬。彼れは、おれを殺しに来た奴だが、なか〜人物さ。その時おれは笑って受けたが、沈着いてな、なんとなく冒しがたい威権があつて、よい男だったよ」(『氷川清話』)と、このとき龍馬は、勝を暗殺しようとしていたと話している。

一方、二〇一〇年のNHK大河ドラマ『龍馬伝』(作・福田靖)の第16回「勝麟太郎」では、龍馬が弟子入りを希望し、勝の屋敷を訪ねるシーンとなっている。

江戸城の南西の地、「赤坂」の地名の由来は、「赤土多き地」(赤土が多いため)、「紀伊侯御中館(紀州藩中屋敷)の地を元赤根山といふ、茜を多く作りし地にて西山なるを、転じて赤坂といふ」(現在迎賓館赤坂離宮のある場所に、茜草が多くあり西山とよばれていたのが転じた)などの説がある(『御府内備考』第三巻、雄山閣)。今日、東京ミッドタウンや赤坂サカスなど巨

NHK大河ドラマ「龍馬伝」に合わせた企画展「長崎奉行所 龍馬伝館」(2010年1月9日〜4月30日)で展示された「地球儀のある勝海舟の部屋」。ドラマのセットをできる限り忠実に再現している
写真提供/長崎歴史文化博物館



大石学が行く 江戸・東京の坂③

本氷川坂と勝海舟

大ビルが並ぶが、江戸時代は大名や旗本の屋敷、寺社の町であった。

この一角、赤坂氷川神社は、もと赤坂一ツ木町(現赤坂二丁目)にあり、素盞鳴命、奇稲田姫命、大己貴命を祀っていた。八代將軍吉宗は、赤坂紀州藩邸の産土神である同社を尊崇し、享保四年(七二九)にこの地に移し、翌五年に新築、朱印地二〇〇石を寄進した。

幕末期、この氷川神社の西側脇の曲がりくねった本氷川坂(元氷川坂とも)の下に、幕臣勝海舟(麟太郎)の屋敷があった。坂名の由来は、坂の途中の東側に本氷川明神があったことによる。この本氷川明神は、明治六年に氷川神社に合祀された。

勝は、文政六年(一八三三)、旗本小普請組勝小吉(四二石余)の長男に生まれ、天保九年(一八三八)一六歳で家督を継いだ。このころ剣術修業に専念し、のち西洋兵術を学び、弘化二年(一八四五)一三歳で筑前藩お抱え蘭学者の永井青崖に入門した。翌三年赤坂田町に転居し、嘉永三年(一八五〇)田町中通りに蘭学塾を開いた。嘉永六年のペリー来航後、老中の阿部正弘は、諸大名などから海防に関する意見を徴したが、このとき小普請の勝も上書を提出した。これが幕閣の目にとまり、開明派官僚の岩瀬忠震や大久保忠寛(二翁)らの推挙を得て、安政二年(一八五五)蕃書翻訳御用となり、洋学所開設の準備を担当した。

この年、同じく開明派官僚の永井尚志に従い長崎に赴き、長崎海軍伝習所でオランダ海軍教官カッテンディーケの指導を受けた。カッテンディーケは、当時の勝について次のように記している。「艦長役の勝氏は、オランダ語をよく解し、性質も至って穏やかで、明朗であったから、皆同氏に非常な信頼を寄せていた。それ故、どのような難問題でも、彼が中に入ってくれば、オランダ人も納得した。しかし私をして言わしめれば、彼は万事すこぶる伶俐であつて、どんな具合にあしらは、我々を最も満足させ得るかを直ぐ見抜いてしまつたのである。すなわち、我々のお人好しを煽り上げるという方法を発見したのである」(永田信利訳『長崎海軍伝習所の日々』)。クル、クレバーで交渉上手な勝の実像が見えてくる。安政六年、勝は長崎での伝習を終えて江戸に戻り、軍艦操練所教授方頭取に任命され、幕臣らに洋式の海軍技術を教えることになる。この年七月、氷川神社の裏の崖の下、本氷川坂の屋敷に移った。

万延元年(一八六〇)、幕府は日米修好通商条約の批准交換の勝麟太郎「おいら、探してたんだよ、日本の海軍を作る力になってくれる奴をな!」。

龍馬「海軍!」……

麟太郎「なあ坂本、幕府の奴らはよお、頭固くていけねえや。話がとんとすすみやしねえや。なあ、もう二年も前だぜ。俺たちはアメリカをみてきた。そう、アメリカへ渡つた船は咸臨丸。オランダ製だが操つたのは日本人だ」。

龍馬「日本人!」。

麟太郎「ああ、自分の低い水夫たち。だが俺たちは、力を合せて、ただひたすら海を渡つた。するとどうでえ、太平洋の荒波にもまれてるうちに、奴らみるみる日本人になりやがった」。

龍馬「日本人!!」。

麟太郎「ああそつだ。幕府だ長州だ土佐だ、そんなこと言つてる場合じゃねえ。俺たちが、今日日本人として、海軍をつくらなきゃあ、この国は、この世から消えてなくなる!」。

龍馬「(愕然……)」

近藤長次郎(土佐脱藩浪人)「日本の船が外洋に出たのは、なんと二百二十五年ぶりだそつです」。

麟太郎(地球儀を回して)とく見ね。エゲレスの船はよ。あー、こつちから島伝いにさ、陸伝い港港で食料や燃料を積み込みながらそろりそろりこの日の本までやつて来た。だが咸臨丸は違う。世界で一番でつかえ海を、ただひたすら進んだ。これはよお坂本、幕府じゃねえぜ。日本人がやりとげた大仕事よ!」。

長次郎「素晴らし!」。地球儀!。



大石学(おおいしまなぶ)
東京学芸大学教授
1953年東京都生まれ。1976年東京学芸大学卒業、同大学大学院修士課程修了、筑波大学大学院博士課程単位取得。徳川林政史研究所研究員、日本学術振興会奨励研究員、名城大学助教授などをへて現職。専門は日本近世史。NHK大河ドラマ「新選組」『篤姫』『龍馬伝』、NHK時代劇『御宿かわせみ』『輝しくれ』『陽だまりの樹』などの時代考証を担当。

もとひかわざか
本氷川坂
所在地/港区赤坂6丁目10番、6丁目19番の間
交通/東京メトロ千代田線赤坂駅より徒歩約10分

坂の途中の東側に本氷川明神があったことから坂の名前に。社は明治16年(1883)4月、氷川神社に合祀。元氷川坂とも書いた。



勝海舟邸跡の碑
本氷川坂下に江戸末期、勝海舟の屋敷があった

き福沢諭吉も乗船し、日本人初の太平洋横断に挑戦した。正月二九日に浦賀を出帆、二月二六日にサンフランシスコに到着した。航海中は荒天続きで、勝は酔いのため船室にこもり、他の日本人船員も動けず、ブルック以下のアメリカ人船員が操船した。ブルックの記録によれば、勝は、「たいそう小柄であるが、眼光がするどく、敏捷で活動的」であった(『ブルック日記』「遣米使節史料集成」5)。

勝が、サンフランシスコでみたのは、「総て士農工商の差別なく」「無刀、唯杖を持つ」「婦妻と同行する者は、必ず其手を握て歩行す。然らざるも婦をして先行せしめ、己其後に添ふ」(勝海舟『海軍歴史』)と、身分差がなく、帯刀せずに杖を持ち、夫人と手をつなぎ、レディファーストで歩く社会であった。帰りはハワイを経由し、五月五日浦賀に到着した。



氷川神社



坂の上にある本氷川坂の標識

文久二年(一八六二)七月、勝は四〇歳で軍艦操練所頭取に就任、閏八月軍艦奉行並に昇進した。この年二月二九日、本氷川坂の勝の屋敷を、土佐脱藩浪士坂本龍馬が訪問している。龍馬は勝よりも一回り年下であった。勝の日記には「千葉十(重)太郎来る、同時坂下(本)龍馬来る、京師の事を聞く」(『勝海舟日記』)と、龍馬が北辰一刀流の剣客千葉周作の甥重太郎とともに屋敷を訪れ、京都情勢を話したとある(このとき勝は大坂あるいは兵庫滞

される。弟子の悲劇を越えて、勝は、徳川慶喜を恭順に導き、明治元年(一八六八)三月、薩摩・長州を中心とする官軍が江戸城を総攻撃する直前、西郷隆盛と会談して、無血開城を実現した。翌月四月三日には、新選組の土方歳三が局長近藤勇の助命活動に、この勝屋敷を訪れている。

重要文化財・勝鬨橋 「学生・技術者向けツアー」& 「橋脚内見学ツアー」実施中

【橋脚内見学ツアー】

■ツアー内容

橋脚内の開閉装置（機械設備）を説明者と一緒に見学します。毎週木曜日（祝日を除く）1日4回実施（10時～、11時～、13時30分～、14時30分～）。参加人数は各回5名程度。参加費用は無料。
ツアー案内：東京都建設防災ボランティア協会
集合場所：かちどき橋の資料館

※橋脚内へは3.5mの垂直梯子を昇降します。安全面を考慮し、自力で昇降が可能の方。
※落下防止の安全装置の着用が必要であり、安全装置の体重制限である100kg以下の方。
※6歳以上（身長110cm位）の方。
※悪天候の場合は中止する場合があります。

■申し込み方法

往復はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤見学希望日時（第5希望まで・午前、午後、全日可）⑥参加人数（1通5名様まで）を記入して下記宛先までお申込みください。返信はがきにて見学日時をお知らせします。返信用にはご自分の住所、氏名のご記入をお願いいたします。なお、お送りいただいた個人情報については、ツアー運営以外の目的には使用いたしません。

■申込先

〒163-0720 新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル20階
（公財）東京都道路整備保全公社「かちどき橋の資料館」予約係宛

【学生・技術者向けツアー】

■ツアー内容

勝鬨橋や隅田川橋梁群などをテーマにした、学習・研修目的の学生・技術者向けツアーです。ツアー内容、開催日時、参加人数などをご相談に応じます。
開催回数：月1～2回程度（希望日の1か月前までにお申込みください）
開催日：資料館開館日のうち火・金曜日。
参加人数：1回10～15名程度（団体で申込み）
参加費用：無料

■申込先

総務部 公益事業課 電話／03-5381-3380
かちどき 橋の資料館 電話／03-3543-5672



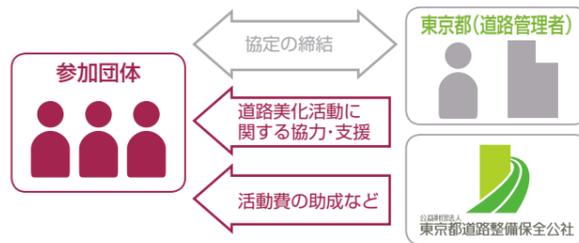
「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか？

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。

■会社の役割

公社は、「東京ふれあいロード・プログラム」に協力し、参加団体の皆様に活動費の助成などを行い、道路美化活動をサポートしています。



■「東京ふれあいロード・プログラム」の概要

対象となる活動	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。 1 清掃活動 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。 2 緑化活動 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まきを行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等
活動場所	都道の歩道部分（供用を開始した道路）
募集期間	随時募集しています。
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めていません。
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。 支援の内容 活動費の支援（1年間 最高8万円まで）* 活動区域内へのサイン（表示板）の設置 ※審査の結果、有償団体として認定した団体に限りです。
認定方法	団体等から、活動を希望する区間（都道）を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ



- 平成24年10月1日現在、119団体が活動しています。情報を公開している団体の一覧は、<http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/list>から確認できます。
- 公社では、東京ふれあいロード・プログラム参加団体を対象に、「清掃用具やジャンパーの物品支援」を行っています。物品支援について、詳しくは<http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/pcej>をご覧ください。

■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部 路政課 管理係
【電話:03-5320-5281（直通）】

登場団体募集！

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マガの東京ふれあいロード・プログラムに登場していただく団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募お待ちしております。

東京ふれあいロード・プログラム



地域の皆さんの愛情が注がれた花壇。四季折々可憐な花が咲き、通行人を楽しませてくれます。



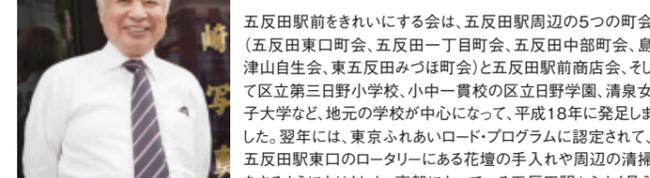
帽子や軍手、ゴミ袋など、公社からの支援グッズは、大事に使っているそうです。



駅前のみまわりは五反田の新観光名所に記念撮影する人も増えているそうです。



五反田駅前をきれいにする会 会長 伊与田 正志さん



五反田駅前をきれいにする会は、五反田駅周辺の5つの町会（五反田東口町会、五反田一丁目町会、五反田中部町会、島津山自生会、東五反田みづほ町会）と五反田駅前商店会、そして区立第三日野小学校、小中一貫校の区立日野学園、清泉女子大学など、地元の学校が中心になって、平成18年に発足しました。翌年には、東京ふれあいロード・プログラムに認定されて、五反田駅東口のロータリーにある花壇の手入れや周辺の清掃をするようになりました。高架になっている五反田駅からよく見える花壇は、私たちが活動をはじめる前は、雑草だけでなく、タバコの吸い殻や空き缶、缶詰やゴミもあり、本当にひどい状態で、周辺の住民にとっても悩みの種でした。“五反田をきれいに住みやすい街にしたい”“花と緑があふれる街にしたい”、という思いから、みんなで力を合わせて頑張っています。

参加団体訪問-30 五反田駅前をきれいにする会（品川区）

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成24年10月末現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加して下さっている団体は119団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、品川区の五反田駅東口付近で活動されている「五反田駅前をきれいにする会」を訪問いたしました。

■五反田駅前をきれいにする会の活動スケジュール
主な活動内容 / 年3回の花植え(2月、7月、11月)
毎月第4日曜日の水やりと周辺の清掃(7-8月は当番制で毎日の水やり)

いつでもクリーンな五反田の街を目指して！
地元の商店会や町会、学校が協力して、
五反田駅東口のロータリーにある
花壇をきれいにしています。



子どもたちも一生懸命に草むしりをしました。



第三日野小学校や日野学園の子どもたちが、授業の中で花植えをすることもあるそうです。



花の成長を邪魔している雑草はしっかり抜き取ります!

五反田をキレイに、そして住みよい街にしたい! 活動に参加している私たちの思いはひとつです。



五反田駅前をきれいにする会 伊与田 彰さん
活動がスタートした頃と比べると、確実に五反田の駅前がきれいになり、ゴミも少なくなってきています。地域の皆さんにも少しずつ認知していただき、「いつもありがとう」と声をかけてくださる方も多く、企業が活動に参加してくれるようになっています。それはとても嬉しいことですし、参加メンバーにとっても活動の励みとなっています。これも私たちが地道に活動してきた成果のひとつだと思います。ただ、歩道橋の下や植込みの中など、見えにくいところに、わざわざ空き缶やタバコの吸い殻を捨てていく人々もまだいます。それでも私たちは、ゴミが落ちていたら、まず拾う。それを基本に、一つひとつ粘り強く掃除をしようと思っています。私たちの活動の原点は“五反田を住みよく、キレイな街にしたい”という共通の思いです。これからも地域密着型で、五反田をきれいにする輪を広げていきたいです。

平成24年度「電線共同溝整備講習会」に講師として参加しました

東京都建設局道路管理部安全施設課が開催した平成24年度「電線共同溝整備講習会」に公社道路部みちづくり推進課から3名が講師として参加しました。この講習会の日程は8月8日(水)から10日(金)で、8日は基礎編で都民ホール、9日・10日は応用編として調布市にあるNTT研修センターで実施し、公社としては最終日の8月10日の応用編にて、都内全区市町村の電線共同溝担当者約100名に対し講義を行いました。



公社が講義した内容及び講師は以下の通りです。

- 「電線共同溝事業における(公財)東京都道路整備保全公社の役割」
講師:みちづくり推進課長 佐々木 雅紀
- 「計画から設計時の注意点」-計画から施工までの具体例や注意点-
講師:みちづくり推進課地中化第二係主任 穴戸 俊介
- 「施工時の注意点」-施工、検査等における具体例や注意点-
講師:みちづくり推進課江東地中化工事事務所専門調査役 朝倉 茂味



この3名が実際に業務で使用した設計図面や現場写真を多用することによって、単純明快でかつ専門的な講義を実施することができ、受講者の多くが熱心に耳を傾けていました。公社はこのような講習会や受託事業を通じて、電線共同溝整備事業のプロ集団として区市町村に技術支援を実施しております。

「第40回日本橋・京橋まつり」に参加、地域との連携を深めています

公社では、2012年10月21日(日)に開催された「第40回日本橋・京橋まつり」に参加しました。今回で40回目を迎えた伝統と格式のあるこの祭りには、平成15年の第31回から参加。当日は中央警察署との合同パレード参加に加え、警備にもあたりました。



迷惑! あぶない! 違法駐車は絶対ダメ。



ハイパースムーズ作戦2012
キャンペーン・ナビゲーター AKB48

東京を渋滞のない街にする5つの行動。

- ① 車は駐車場にとめよう! ② 荷さばき可能駐車場を活用しよう! ③ お出かけはオフピークの時間にしよう!
- ④ お出かけ先の駐車場を調べておこう! ⑤ 通勤やお買い物は、電車やバスで行こう!

いま、はじめよう! 東京の渋滞解消。



ハイパースムーズ作戦



ITS(高度道路交通システム)技術の活用 / 道路施設の改善 / 荷さばき対策

ハイパースムーズ作戦

東京都 警視庁 東京国道事務所



公社は、全ての事業を通じ、首都東京の再生と都市機能の維持増進、都民生活の向上に貢献しています。

東京都・区市等

道路占用料等

受託等

自主経営事業
(収益事業)

1) 新宿駅西口活性化事業

明るく快適な地下歩行空間の確保、賑わいの創出や利便性の向上のため、新宿駅西口広場において、イベントコーナー、フライトサインや環境写真の管理運営を行っています。



新宿駅西口広場におけるフライトサインの掲出

2) 駐車場事業

都有財産等を有償で借り受け、駐車場を設置し、適正に管理運営しています。利用者ニーズに対応したサービスの向上など、使いやすく快適で安全・安心な駐車場づくりを目指すと同時に、これらの駐車場を活用し、公益財団法人ならではの様々な公益的・先駆的施策を展開しています。

1) 駐車場の管理運営

190場 8,712台
(うちオートバイ受け入れ53場1,209台)

2) 駐車場における公益的・先駆的取組の展開

- ・30分未満駐車料金を無料化の実施
- ・荷ざばき可能駐車場の設置
- ・荷物積み替え駐車場の設置
- ・カーシェアリング事業への支援
- ・低公害車割引の実施
- ・身体障害者割引の実施 等

3) 使いやすく快適で、安全・安心な駐車場づくり

お客様満足度の向上
防犯・防災対策の強化
LED照明の導入 等



「大曲荷物積み替えステーション」

道路事業(公1事業)

1) 道路の早期整備への貢献

1) 道路用地取得事業

① 都道用地取得業務の受託

首都東京の再生のため整備が急がれる骨格幹線道路のうち、新規事業認可路線の一部について、路線単位及び計画道路に掛かるマンション敷地の道路用地取得業務を行っています。

② 区道用地取得支援業務の受託

区部における都市計画道路の早期整備に向け、特に支援が必要な区道の用地取得業務を行っています。

2) 無電柱化推進事業

① 東京都無電柱化事業の受託

電線類を地中化して電柱を撤去することにより、都市防災機能の向上、安全で快適な道路空間の確保、都市景観の向上を図る無電柱化事業を東京都から受託しています。公社は、東京都と分担して首都高速中央環状線内側のセンターコアエリアの約半分の都道無電柱化に取り組みんでいます。

② 区市町村無電柱化の技術支援

区市町村が実施する無電柱化事業の業務を受託するとともに、事業に関する相談に対応するなど総合的支援を行っています。



無電柱化前

無電柱化後

3) 鉄道連続立体交差事業に係る側道整備等事業

JR中央線及び南武線の鉄道連続立体交差事業に係る側道等の整備を東京都及び武蔵野市から受託し、測量、詳細設計及び築造工事等を実施するほか、事業に係る借地等における現場の施工管理や品質管理等の工事監督の補助業務を受託しています。

4) 工事監督の支援事業

安全で高品質な道路整備に貢献するため、都道工事における現場の施工管理や品質管理等の工事監督の補助業務を受託しています。

5) 土木材料試験事業

東京都内で実施する一定規模以上の公共工事では、使用する土木工用材料の品質検査が義務付けられています。公社は、東京都の道路行政を補完する団体として、公共工事の使用材料の品質・信頼性を確保するためアスファルト、コンクリート、骨材、鉄筋などの品質試験を実施しています。



アスファルト混合物の動的安定度試験

6) 講習会事業

道路整備に係る様々な事業の実施により蓄積した知識・ノウハウを社会に還元し、道路整備技術の更なる発展に貢献するため、東京都及び区市の職員等を対象として、マンション用地取得や無電柱化、工事の安全に関する講習会を実施しています。



2) 道路施設等の安全・安心な管理の推進

1) 道路管理事業

① 道路管理受託事業

東京都から都道に付帯する重要道路施設の管理や連絡業務を受託し、利用者に安全で快適な道路空間の確保に貢献しています。



環状八号線井狹トンネル

② 総合案内情報提供システム(TIS)の運営

道路空間のさらなる有効活用に向け、新宿副都心西口広場に設置した総合案内情報提供システム(TIS)を運営しています。103インチの大型モニターで行政情報、地図情報、災害情報を提供しています。



総合案内情報提供システム(TIS)

2) 都有地管理事業

都有地の維持・保全業務等の財産管理業務を東京都から受託し、都有地が行政需要に供されるまでの間、適正な管理を行っています。また、都有未利用地の積極的な有効活用を図るため、公社が管理する都有地を活用し、緑化など環境に配慮した管理方法の検証を行っています。

3) 道路アセットマネジメント支援事業

高度成長期に建設された橋梁等の道路施設の保全・活用に向け、区市町村が行う点検、健全度診断、データ管理、対策工事等業務の受託、区市町村職員を対象とした橋梁専門技術者の育成や技術相談窓口の対応を行っています。また、都民と協働して、都内の橋梁等道路施設の安全安心な管理をサポートするためのインフラメンテナンス及びブリッジサポーター講習会を開催するなど、ICTやスマートフォンなど最先端のICT機器の活用や道路アセットマネジメントシステムを活用した様々な事業の受託及び関連技術の支援を行っています。



4) 都民とともに進めるみちづくり支援

1) 道路に関する助成事業

地域住民や企業等と東京都が協働して道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を推進する制度「東京ふれあいロードプログラム」に参画し、活動団体として認定された団体に対して活動に必要な清掃グッズ等を支援しています。

2) 道路見学ツアー事業

都内の道路工現場等を見学するツアーの実施を通して、道路整備や維持管理の必要性をPRしています。



首都高速中央環状線川崎トンネル工事現場

3) 道路に関する普及啓発事業

都民の方々が、道とふれあい、道に親しみをもち、道が日々の生活に身近な施設であることを実感してもらうことを目的として、道路愛護・交通に関する参加型イベントである「夢のみち」事業を主催しています。



収益

駐車対策事業(公2事業)

1) 都市の環境改善に資する調査・研究

違法路上駐車や環境負荷軽減など、都市の環境改善に資する調査・研究を行っています。路上駐車実態調査や、EVカーシェアリングの普及拡大に向けたモデル事業の検証、提案公募型研究など、様々な調査を実施しています。



充電インフラとEVカーシェアリング「六本木駐車場」

2) 公社駐車場を通じた環境改善の強化

指定管理者駐車場以外の公社駐車場においても、都市の環境改善に資する先駆的施策を展開しています。
・電気自動車充電インフラの整備
・駐車場の緑化によるヒートアイランド対策の推進 等



電気自動車充電インフラ(急速充電器)

「日園調布駐車場」



緑化ヒートアイランド対策モデル駐車場「ガーデンパーク六本木」

3) 民間駐車場等への支援

違法路上駐車削減及び都市の環境負荷軽減に寄与する先駆的施策を都内の駐車場に普及するため、「東京都特別区駐車場整備基金」の果実(運用利益)を活用した民間駐車場事業者等への支援を行っています。この基金は、都内の駐車場問題を解決するために東京都と23区が拠出して設けたもので、一定の成果が見られたことから平成15年度末をもって廃止され、拠出金は東京都と23区に返還されましたが、その果実を活用し、都内で不足するオートバイ駐車場の整備、LED照明の設置や緑化など環境に配慮した駐車場の整備に対する助成などを行っています。

- ・自動二輪車用駐車場整備助成・環境に配慮した駐車場整備助成
- ・満空情報発信端末設置支援・駐車場名入りP看板設置助成



整備助成を行ったオートバイ駐車場「MTG六本木1丁目駐車場」

3) 駐車場情報の提供

s-park 都内駐車場案内サイト[s-park]
s-park for riders 都内オートバイ駐車場案内サイト[s-park for riders]

民間企業の駐車場管理システム及び駐車場案内システムから提供される情報などをもとに、都内時間制駐車場のほぼ100%をカバーする駐車場案内サイトを運営しています。約17,000場の駐車場位置情報、新宿・渋谷・池袋・六本木等を中心とした約5,000場の満空情報を、ホームページ、携帯電話、スマートフォン、カーナビゲーションを通じて案内しています。また、都内オートバイ駐車場案内サイト「s-park for riders」において、約420場の位置情報と、11場でのライブカメラ映像による空き駐車場情報を案内しています。

s-parkのしくみ



全事業の実施を通じて都民に還元

都民・社会

Karuta 童謡・唱歌・叙情歌、
日本を代表する50曲がかかるたに!

言わずと知れた本の街・千代田区神田神保町にお店を構える奥野かるた店は、大正10年(1921)創業という長い歴史を持っています。専門店ならではのオリジナル企画かるたも多く、特におススメなのが「木版画 なつかしの歌かるた」。大人にはなつかしく、子どもたちには伝えたい、童謡・唱歌・叙情歌50曲のかるたです。伊藤卓美さんによる木版画の絵札も、素朴で温もりがあると好評です。それぞれの歌の一番の歌詞を全文掲載した解説書付。



Present for you 奥野かるた店の「木版画 なつかしの歌かるた」を3名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

Fuku-mame 天野屋の「明神福豆」

神田明神の門前に店を構える「天野屋」は、江戸時代から「明神甘酒」で有名な店です。歴史を感じさせる店内で甘酒をいただいた後のお土産として人気があるのが、「味噌いり縁起まめ」で評判の「明神福豆」。落花生を砂糖と味噌でコーティングした豆は、ほんのりと甘く味噌の香りが懐かしさをさそう逸品です。



Present for you 天野屋の「明神福豆」を5名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

TR GOODS 公社オリジナル
新・都内オートバイ駐車場MAP&
『特注トミカs-park都営バス』

東京都道路整備保全公社が編集したライダーのための『都内オートバイ駐車場MAP2012』は掲載駐車場数もさらに充実しました。また、公社が開催する様々なイベントで大人気のノベルティ『特注トミカs-park都営バス』も大好評です。



① 100名



② 100名

Present for you 東京都道路整備保全公社のオリジナルグッズ(①②(非売品)のいずれか1点)をプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

Book 『完全小説版 龍馬伝』

今号の「大石学が行く 江戸・東京の坂」で紹介した「本氷川坂」は、福山雅治主演で話題となった2010年のNHK大河ドラマ『龍馬伝』で、龍馬に多大な影響を与えたと言われている勝海舟とのエピソードを紹介しています。この『龍馬伝』は、福田靖さんのオリジナル脚本で、放送台本を元にした完全小説版も放送中から人気になっていました。岩崎弥太郎の視線から描かれた魅力溢れる龍馬をもう一度、楽しんでみてはいかがでしょうか?



Present for you 大河ドラマ『完全小説版 龍馬伝』(I・II・III・IVセット)を2名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

次号は2013年2月1日発行予定です。

公益財団法人
東京都道路整備保全公社

発行日/平成24年11月1日

発行元/公益財団法人東京都道路整備保全公社

住所/〒163-0720 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル20階

TEL.03-5381-3361 FAX.03-5381-3355

会社ホームページ <http://www.tmpc.or.jp>

企画制作・編集・デザイン/株式会社京王エージェンシー

プレゼント応募方法

Present for you Present for youマークのついたプレゼントをご希望の方は、専用応募ハガキに、P21のクイズの答えをご記入の上、ご応募ください。また、下記のプレゼント応募アドレス、QRコードにアクセスし、ご応募もできます。尚、プレゼント商品の色、柄、デザイン等は写真と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- 応募締切/2013年1月20日(日)(専用応募ハガキによるご応募の場合は、締切当日消印有効)
- お一人様一口のみ有効です。

プレゼント応募アドレス

- パソコンからも携帯からも
<http://www.tmpc.or.jp/present>

プレゼント応募ページより
ご意見・ご感想もお寄せください。

※発表は発送をもってかえさせていただきます。
※応募者の個人情報は、当選者への発送、お問い合わせに必要な範囲内で利用し、同意なく第三者への提供は行いません。



QRコード
携帯電話から簡単アクセス!
(機種によりうまく表示されない場合があります)

※掲載データは2012年10月20日現在のものです。

人もクルマも、ホッとする街づくり。

公益財団法人
東京都道路整備保全公社



TR/ティーアールは、私たち東京都道路整備保全公社の
事業を表すブランドネームです。

これからも、渋滞対策や、うるおいのある道路空間の創出をはじめ、
様々な公益事業を積極的に展開していきます。

